

あの頃の風景

筑後川編 第1回

株式会社オリエンタルコンサルタンツ/国土基盤事業部
上野淳人 UENO Junto (会誌編集専門委員)



緋・足袋・ゴム靴・タイヤ・医療とともに歩んできた町「久留米」



① 帆掛け船が上流まで上っていた頃の筑後川

筑後川は阿蘇山に端を発し、有明海に注ぐ全長143kmの九州最大の河川である。筑紫次郎とも呼ばれ、かつては日本三大暴れ川の一つで、たびたび氾濫を起こした。洪水により一夜にして豊潤な土地が荒地に変化する様から一夜川ともいわれた。昭和28年6月25日から29日にかけて発生した集中豪雨(西日本水害)では、死者147人、流出全半壊12,801戸、床上浸水49,201戸、床下浸水46,323戸、破堤等122箇所、被災者数54万人という未曾有の大災害を招いている。他方、農業用水や生活用水としてなくてはならない川であった。さらには舟運による交通路に利用され、日常生活や経済活動の大動脈であった。

筑後川中流に位置する久留米は、福岡県で3番目、九州で8番目の人口30万人を擁する中核都市である。江戸時代は久留米藩の中心地として栄え、明治以降は久留米県の県庁所在地、その後福岡県に統合され

るも産業の中心地として発展した。久留米がこの地域の中心地として繁栄した理由は、南北交通路と東西交通路の交点であったことと、肥沃な穀倉地帯である筑紫平野で作られる米の集積・積み出し地であったことが挙げられる。

久留米藩は殖産興業策の一つとして久留米緋の生産を奨励した。明治になると一部の着物仕立屋が足袋製造を行うようになるが、やがて足袋の底にゴムを張り付けた地下足袋が考案され、農業や炭坑の作業に利用され大評判になる。その後、地下足袋はゴム長靴やゴム靴へ発展し、靴工場が久留米に作られる。また、ゴム靴の技術はタイヤの開発にも応用される。今日でも国内有数のゴム靴工場や世界的なタイヤ工場が久留米で稼働している。

「久留米の三しゃ」という言葉がある。三しゃとは芸者、医者、人力車を指し、久留米が栄えたことのたと



社会式株式会社足袋本目

- ②(上) 大正11年の筑後川沿いに作られた足袋製造工場。現在より水量の多い筑後川には帆掛け舟とボートが見える
- ③(右) 現在の同じ場所。上流の夜明ダムの完成により水量が減った筑後川の川原にはゴルフ場ができています。工場の煙突の奥には建設の進む九州新幹線の高架橋が見える



- ⑥(下) 明治30年の久留米市郊外の高良台。稲刈りの済んだ田圃で演習する兵隊とそれを見学する多くの人々が見える
- ①(右) 住宅が立ち並ぶ現在の同じ場所。手前に写っている国道3号は渋滞が途切れることがない



- ④(上) 昭和7年のかつての繁華街の三本松通り。この通りは久留米城下の東西南北の交通路が交わる札の辻に隣接してあった
- ⑤(左) 現在の同じ場所。太平洋戦争の空襲で焼けた三本松通りは1本筋違いの場所に移って復興され、この場所に昔日の賑やかさは戻ることなかった



- ⑧(下) 昭和28年の豪雨により流木がつかえた西鉄電車の鉄橋。この後鉄橋の一部が崩れ電車は不通となる。この水害はその後の九州北部における治水対策の基準となっている
- ⑨(左) 現在の西鉄電車の鉄橋。昭和54年にトラス橋から桁橋に架け替えられた



えであった。芸者と人力車は廃れてしまったが、現在でも久留米には大きな病院があり、この地域一帯の医療の中心地として機能している。

久留米の強さは、一つのことに固執しないことだという話を聞いた。近隣には、かつて石炭や鉄で栄えたのにその後の産業構造の変化に適合できず、現在ではふるわない町々を見ることができる。そんな中で久留米は、久留米緋、足袋、ゴム靴、タイヤ、医療の町と様々な姿を見せながら、時代を生き抜き発展成長を遂げてきた。

交通の発達した現在、博多まで電車で30分、自動車45分の立地条件にある久留米は博多のベッドタウンとしての開発が進み、町のあり方も博多に依存しつつある。さらに、平成23年には九州新幹線が開業予定であり、JR久留米駅前ではマンション工事が盛んに行われている。数年後にはあたかも博多に飲み

込まれてしまうかのようである。

しかし、久留米を見て回りその歩んできた歴史を知ったとき、この町がこれまで辿ってきた、一つのものに固執しないというたかさを持っていて、これからも生き延びていくのではないかと感じたし、そうあることを願って止まない。

- <参考文献>
- 1) [カメラがとらえた久留米の100年]久留米市教育委員会
 - 2) 「筑後川河童の想い出」国土交通省筑後川河川事務所

<取材協力>
久留米市役所文化財保護課

- <写真提供>
- 写真①、⑧ 国土交通省筑後川河川事務所
 - 写真②、④、⑥ 久留米市役所文化財保護課
 - 写真③、⑤、⑦、⑨ 筆者